

気になったら口腔粘膜検診を受けましょう。お口の中、お顔に広がっていく口腔がんは早期発見、早期治療が大切です！

## Q こんな症状はありませんか？

以下の当てはまる項目に  を入れて、3つ以上ある方は一度かかりつけ医に相談してみましょう。

- 1  口の中の粘膜が赤くなったり白くなったりしているところがある
- 2  口の中で自然に血が出ているところがある
- 3  口の中に「しこり」や腫れた部位がある
- 4  口内炎がなかなか治らない
- 5  歯ぐきの腫れがなかなか治らない
- 6  入れ歯が痛みや腫れで合わなくなったり、違和感がある
- 7  歯を抜いた後の傷口がなかなか治らない
- 8  頬や舌が動かしづらい
- 9  喋りにくくなった
- 10  首の周りのリンパ節が腫れている

開業医だから発見できる口腔がん  
(クインテッセンス出版株式会社) より引用改変

# 口内炎？ ひょっとして 口腔がん？

「口内炎がなかなか治らない」

「歯ぐきの腫れがなかなか治らない」

と思っていたものが実は『がん』だった、ということがあります。多くのお口の中の『がん』が歯科医院で見つかっています。ご心配の方はかかりつけの歯科医院や口腔外科のある医療機関にご相談ください。



口内炎



初期の口腔がん



進行した口腔がん



岐阜県・岐阜県歯科医師会

こうないえん  
口内炎



口の中の粘膜(舌、歯肉、頬粘膜:頬の内側の粘膜、など)に出現する炎症性病変の総称をいいます。入れ歯やむし歯によって粘膜に傷が出来る場合や体調不良による潰瘍(ただれ)が多く、原因の治療により2週間程度で治癒します。治癒しない場合には詳しく調べる事が重要です。

こうくうはくばんしょう  
口腔白板症

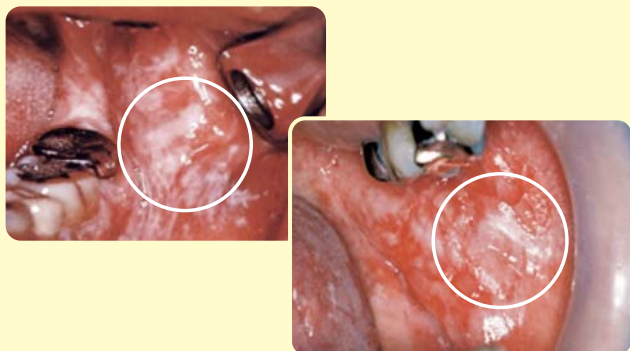


口の中の粘膜上皮が厚くなっている部分が白色の板状に見えることから病名が付けられています。摩擦によっても除去できません。がん化することが知られており、注意が必要です。

口内炎? ひょっとして口腔がん?

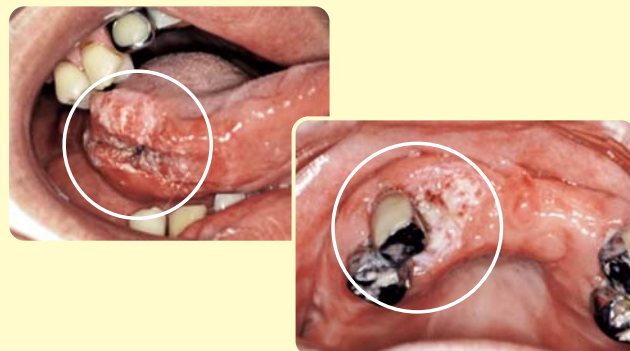


こうくうへんぺいたいせん  
口腔扁平苔癬



口の中の粘膜上皮にレース状、網目状の白色斑が出現する炎症性病変です。原因は不明ですが、金属アレルギーにより出現することがあります。悪性の疾患でないことを確認することが重要です。

こうくう  
口腔がん



舌や歯肉、頬粘膜(頬の内側の粘膜)などの潰瘍(ただれ)・腫瘤(こぶ状の腫れ)として認められます。初期の口腔がんでは口内炎・歯周炎によく似ているため放置し、進展がんとなっている場合が多く見受けられます。治らない口内炎や歯周炎では詳しく調べる事が重要です。